

No. 9	平成30年度 「地域子育て活動支援事業」 実施の内容				
団 体 名	特定非営利活動法人 a c c o m m o n				
事 業 名	発達障がい児を抱える保護者の子育てを支援する勉強会開催事業				
実 施 期 間	平成30年4月～平成31年3月				
事 業 実 績	毎月、発達障害に関連した様々なテーマで勉強会を開催した。 ※参加者→参、ボランティア→ボ、スタッフ→ス、欠席→欠				
	開催日	開催場所	内 容	講師	参加者数
	4月18日	アイーナ	座談会「新年度について」		参4、ス3、
	5月16日	アイーナ	勉強会＋座談会「学校との連携について」	岩手県教育委員会 五安城 正敏 氏	参10、ス5
	6月13日	おでつて	体験談＋座談会「不登校を経験し感じたこと、得たこと」	櫻井 滝三 氏	参13、ス4、
	7月18日	アイーナ	ワークショップ「100円ショップで揃う療育グッズ」	SMILE HOUSE にこ nico 菅野 智津子 氏	参12、ス3、
	8月5日	ふれあいランド岩手	勉強会「アナログゲーム療育講座・親子体験会」 午前：保護者・支援者向け 午後：親子向け体験講座	アナログゲーム療育アドバイザー 松本 太一 氏	(午前) 参21、ボ12、 (午後) 参32、ボ12、
	9月19日	アイーナ	勉強会「家庭でできるビジョントレーニング」	鬼柳 祥章 氏	参15、ス4、ボ1
	10月3日	盛岡中央高校単位制・北日本高等専修学校	勉強会「通信生高校めぐり2018」		参18、ス4
	11月28日	アイーナ	勉強会「感覚統合について」	いわてリハビリテーション学院 田中 弘美 氏	参23、ス4
	12月15日	ふれあいランド岩手	「校庭に東風吹いて」上映会		参36、ス5
	1月30日	アイーナ	勉強会「保護者の体験談＋座談会」	成田 礎野美 氏	参12、ス3
	2月20日	アイーナ	勉強会「家庭でできるSST」	岩手県立大学看護学部講師 佐藤 史教 氏	参16、ス4、ボ1
	3月6日	アイーナ	勉強会「心理検査の活かし方」	岩手大学人文社会科学部教授 奥野雅子 氏	参24、ス4、

実 施 効 果 自 己 評 価	【実施効果】 「通信制高校めぐり」においては、毎年継続的に開催することで認知度が上がり、オープンスクールなどと共に案内してくれる中学校もあった。また、医療関係者や福祉関係者に加え、中学校に入学するにはまだ期間がある保護者の参加も増えた。 実際に、「手を動かしながら」「子どもを想像しながら」のワークショップ形式の勉強会では、普段コミュニケーションに苦手さを抱える保護者や、療育機関の先生方の参加が増えた。 継続的に勉強会を開催していることが盛岡市子ども未来部子ども青少年課の目に留まり、勉強会に参加いただけるとともに、盛岡ユースネットという支援のネットワークへの参加要望があった。 勉強会に参加した方から話が伝わり、岩手県生涯学習推進センターや放課後デイサービス事業所の勉強会に代表が講師として招かれた。 昨年度末に開催したワークショップ「受診サポート手帳を作ろう」で作成した手帳の原案をもとに、岩手県と岩手県医師会が「受診サポート手帳」を発行してくれることとなった。 岩手のNPO ボランティア活動情報誌PIN（パイン）にアコモンの特集が組まれることとなった。 【自己評価】 初年度は案内が難しかった。また、勉強会の中継は会場でテスト配信した際にうまくいかなかったため、中止せざるを得なかった。 平日午前で開催してきた通常の勉強会に比べて、土日開催の特別勉強会映画上映会は他のイベントと重なってしまい、動員が難しかった。開催時期や日時の選択の難しさを感じた。 ワークショップやロールプレイなど、実生活や仕事にとり入れやすく効果が実感できるような参加型の勉強会を多く開催することが出来た。また、座談会形式を取り入れたことにより、参加者間で共有しやすい身近な問題や具体的な話題が多くあがり、参加者同士の交流が深まった。 盛岡市の職員や病院、放課後デイ等の支援者の参加が増えた。これにより、発達障害への理解が深まること、地域との連携もしやすくなることが期待できる。また、アナログゲーム療育講座・親子体験会では、盛岡大学の学生や他団体からボランティア参加があったことも、外部との連携が強化されていると実感できた要素である。
----------------------------	--